

# 【小施策評価(平成30年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	観光交流課	
施策	24	観光の振興	評価 責任者	曾根田 雅彦	内線 3720
小施策	24-1	観光情報の発信と観光客誘致の推進	評価 シート 作成者	真田 伸	内線 3721

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
旅行情報の取得手段が多様化しているほか、個人旅行の増加や本物志向など、旅行ニーズが変化する中で、多くの観光客に選ばれるよう、ターゲットを意識した効果的な情報発信や祭り・イベントの充実などの取組が必要である。また、教育旅行などで盛岡を訪れた方に再訪していただけるような仕組みづくりが必要である。		盛岡の魅力を多くの人に知ってもらえるよう、ホームページやSNSなど、多様な手段による観光情報の発信を強化するとともに、より多くの人に盛岡を訪れてもらえるよう、祭り・イベントの充実や盛岡デーなどを通じた効果的な宣伝や特産品のPRにより、観光客誘致活動を積極的に展開する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
国内外の人		多くの人が、盛岡の魅力を知る。盛岡を訪れる。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価		
				成果点	⇒	成果の要因分析
指標①	観光客入込数	単 位	目指す方向			
		万人回	↗			
当初値 (H25)	472	R1目標値	500	R6目標値	520	
<p>・観光客入込数は中間目標値(500万人回)を達成し、交流人口が拡大した。 ・外国人観光客入込数が1.6倍(前年度比)に増加した。</p>				<p>・盛岡デーや各種物産展等の開催を通じた誘客宣伝、特産品PRが、盛岡の認知度向上や目的地としての選択につながったことによるものと考えられる。 ・祭り・イベント等の主催団体への支援や、年間を通じて祭り・イベントの充実を図ったことによるものと考えられる。</p>		
問題点				⇒		
<p>・交流人口の増加に対し、宿泊者数が伸びていない。</p>				<p>・エリアの知名度・認知度が十分ではないこと。 ・滞在型・周遊型観光を推進する中で、盛岡泊のインセンティブを十分には発揮できていないこと。</p>		
指標②	まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向			
		%	↗			
当初値 (H25)	78.0	R1目標値	80.0	R6目標値	80.0	
<p>・「盛岡が好き」という市民の割合は高い水準にある。</p>				<p>・年間を通じて祭り・イベントの充実を図ったことによるものと考えられる。</p>		
問題点				⇒		
<p>・「盛岡が好き」と答えた割合については、年齢別・性別・地域別で差が生じている。</p>				<p>・年齢別・性別・地域別など、多様な層にアプローチする効果的な情報発信が不足していたことによるものと考えられる。</p>		

## 今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
★ 広域連携による観光プロモーションを強化し、エリアの知名度・認知度の向上を図っていく。	
★ 関係者間の連携を図り、地域資源を最大限に活用した観光地域づくりを推進していく。	
★ まちなか観光の充実を図るとともに、宣伝誘客に向けた取組を推進していく。	
☆1 盛岡芸妓の育成について、芸妓見習いの独立に向けた取組を進めていくとともに、後継者を育成するため、新たな盛岡芸妓見習いの募集について検討を行う。	
★ 関係者間の連携を図り、地域資源を最大限に活用した観光地域づくりを推進していく。	
★ 年間を通じて祭り・イベントの充実を図るとともに、年齢別・性別・地域別など多様な層に合った媒体及び手段を活用した情報発信の強化を推進していく。	